



こめづくり もりづくり ひとつづくり

山村塾通信



「天端から間中は刈ってよし」



地域の道路愛護（草刈り）作業

15年ほど前、地域のお年寄りが、草ぼうぼうとなった道路脇を眺めながら「昔は『天端から間中は刈ってよし』と言いつたけど、今は誰も切らんもんなあ…」と話してくれました。

「天端（てんば）」とは、道路沿いの石垣の一番高い部分で、「間中」は一間の半分（約90cm）のこと。つまり「道路沿い石垣の上から90cmの範囲は、地域のだれでも草木を刈ってよい」という昔の決まりです。道路にかぶって邪魔になるような草木は、所有者でなくても誰でも切って片づけてよい。

そして牛や馬のエサ、薪として収穫してもよい。という二つの意味が込められていました。

笠原地区は他の農山村に比べて道路の手入れが行き届いているほうですが、それでも近年は以前より草木のボリュームが増えてきたように思います。農林地を管理する人が減り、年間の草刈り回数が減ってきたことが大きな理由です。

笠原では「道路愛護」という地域活動が熱心に行われており、集落ごとに年に数回草刈り作業が行われています。しかし、参加する人は年々と少なくなり、高齢者や非農家の割合が増えて、作業が大変になってきました。かつては年に4～5回草刈りされていた場所が、中には年に1回になったところもあります。草刈りの頻度が減ると、草丈も種類も変わり、ボリュームが一気に増えます。とくに石垣の上「天端」まではとても手が回りません。

その結果、山盛りに育った草に対し、地区役員さんたちが軽トラックにタンクを積み、動噴で除草剤散布してなんとか維持管理している場所もあります。昔のお年寄りは草が茂るとみっともないからと、草刈りをして少し伸びてきた頃に少量の除草剤をかけていましたが、今はそうは言ってもらえないようです。除草剤を使うと、彼岸花のような美しい草花が姿を消し、植生の変化や生き物・土壌への影響も心配されます。できれば使わないほうがいいと思いますが、限られた人手で広い範囲を管理しようとすれば、やむを得ない面があることも理解できます。

そこで、ひとつ提案です。笠原に住んでいる人だけでなく、笠原に関わる人、通ってくる人、みんな「天端から間中は刈ってよし」活動を、年に数回やってみませんか？一人の作業は少しですが、その小さな積み重ねに多くの方が参加すれば、笠原の風景はきっとまたぐっと美しくなるはずです。ご参加お待ちしております！（小森耕太）

稲作コースより



今年の稲作コースの棚田では、田んぼに放したアイガモがキツネなどの獣害により全ていなくなっていました。何度か入れなおしても被害に遭い、農山村での獣害が年々増えていることを実感しています。

アイガモ不在の田んぼでは雑草が勢いを増し、8月の猛暑の中での草取りはなかなか大変でした。アイガモの除草力に改めて感謝です。

そうして迎えた10月。天候にも恵まれ、稲は今年もよく育ってくれました。アイガモは残念ながら例年よりもかなり数が少なかったのですが、鴨さばきで大事に命をいただきました。子どもたちも一生懸命に作業に参加してくれて頼もしかったです。

収穫祭での、鴨の炭火焼きおいしかったですね！実りの秋をみなさんと満喫することができて良かったです。今シーズンの米づくりも、たくさんのご参加ありがとうございました！（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	WC	スタッフ	計
8/2	田の草取り②	12	4	0	6	22
8/24	鴨の引き上げ	26	4	2	5	37
10/11	稲刈り①	35	0	0	8	43
10/12	稲刈り②	34	8	0	9	51
10/25 ~26	鴨さばき	17	1	0	6	24



真夏の田の草取り、おつかれさまでした！（8/2）

農家の声

今年も早11月！秋の気配が感じられる今日このごろ！この一年を振り返ると、やはり温暖化での異常気象は今年も続いています！真夏の40度近い日々は当然の如く！台風こそ逃れましたが、体調管理には気を使う日々が続きましたね。

この異常気象に制限された環境と時間に情熱（やる気！）を鍛え上げながら、立ち向かいそして粘り強く持続する力を備え続けんといかん時代が来ているように思います！必要な変化を受け入れ、そこにはまた、挑戦があり、成長もあるだろうし、その挑戦を支える原動力の維持も不可欠ですね！このごろ特にそういう心境に浸ってます！

おかげさまで山村塾の皆様方に支えられて31年目！四季菜館は28年目。人を思う心を広げながら、個性や持ち味を発揮してもらい、分かち合っていけたらよかネと！！我々も金婚式を迎える頃（48年）となりつつ、現実と向かい合い、いつまでも健康であり続けたいです。

先日ある雑誌に、「仲の良い親友、信頼できる信友、理解しあえる心友、深い付き合いの深友！」いろんな“しん友”を増やし、常に心新たに夢や希望を持ち進み生きていけたらよかですネ！

それから今年は米騒動で一時大変でしたが、我が家も会員の方々、そしてこれまでに過去40年間買い支えていただいている一般の方々を中心に（制限は若干ありましたが）販売し、新米が出来るまでどうにかつなげることができました！皆様方のご協力に感謝するばかりです！

そして椿原農園の後継者ファミリーにも感謝の意を隠すことはできません。これからも共感しあえる仲間が増え続けることを願っています。

年末のお願い事も含めまして、来年もまた、未永くよろしくお願いいたします。よい年をお迎えくださいね！

息子に「あと30年は手伝いできるごたるね！」と言われ、「えっ！30年だけでよかと？」と言ってしまった、

四季菜館 71歳の
椿原まり子より



山林コースより



今年度は一般財団法人 BOTANIST 財団さんより助成をいただき、『いろいろな生き物が住む森づくり』を目指して、山村塾の森づくりフィールド「ケヤキ林」で全層間伐に取り組んでいます。

10月は、30年前に植えたケヤキが育つ2か所の区画で、今年度最初の間伐作業を行いました。細い木は手ノコで、大きなケヤキやスギはチェーンソーとロープを使って伐採します。木がゆっくり傾き、めきめきと音をたてて倒れる瞬間は迫力満点で、「初めて見た！」という声も聞かれました。伐ったあとは、玉切りや枝の片付け、材の運び出しなど、さまざまな作業を協力して進めました。

今回伐ったケヤキやエゴノキなどの広葉樹材は、木のおもちゃの材料などへの活用を検討中です。ほかにもアイデア大募集中です！

今後も間伐の続きや材の片付け、アカマツ林の手入れ、東屋の改修などを予定しています。初めての方や子どもたちの参加もお待ちしております！（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	WC	スタッフ	計
7/27	下草刈り②	7	1	0	3	11
10/19	森の手入れ①	9	2	1	7	19



ケヤキ林での間伐（10/19）



山の上は涼しい！下草刈り@ケヤキ林（7/27）



間伐のあと、森の中が明るくなりました（10/19）

山村塾の一大イベントである収穫祭も無事に終わり、今年も残すところ1か月と少しになりました。個人的に11月はイベント盛りだくさんの1か月です。（収穫祭、笠原まつり、里山コンサートetc…）。大変だと思えば大変なのですが、色々な人との関わりがあり、得るものもあり、その時を楽しみたいと思っています。

最近やっと椎茸の収穫が始まりました。例年、収穫祭で椎茸の天ぷらをしていたのですが、今年はまだ収穫できませんでした。近年の温暖化、気候変動もあり、農産物にも影響が出ているようです。椎茸の原木も高温障害のためか雑菌が付き、椎茸が発生しない原木も増えて来たような気がします。1回目の収穫はコンテナ3杯程、2回目で10杯程度でした。山林コースの農産物の発送も少しずつですが、準備でき次第発送していく予定です。これから3月まで山林コースのイベントがあ

ります。笠原でお待ちしております。

今、クマの被害のニュースが絶えません。九州には野生のクマがいないと言われているので、山の活動ができるのですが、ここでも毎日シカの鳴き声を聞くようになり、生き物の生活環境にも変化が出てきているようです。

インフルエンザ、コロナ等の感染症も増えているようです。気をつけましょうね～。



蛇の抜け殻
発見！

山林コース
宮園 佐津美

山村塾＊活動レポート

中長期個人型ボランティア

…1 か月以上の期間、笠原に滞在しながら活動するボランティアです。

ステファニアさん
from イタリア
7/21～9/7



7月から9月上旬までの約1か月半、イタリアからステファニアさんが国際ボランティアとして参加しました。期間中、2つのワークキャンプと子どもキャンプ、イベントのサポート、暑い中での草刈りに一生懸命取り組んでくれました。ありがとうございました！

黒木 youth ワークキャンプ

7.21～28

今夏の中高校生対象ワークキャンプでは、国内外（日本、ベトナム、ウクライナ、アメリカ）から中高生5名とリーダーが参加しました。えがおの森で合宿しながら、田んぼの草取りやラッキョウ畑の準備、「社会福祉法人たからばこ」の皆さんとの森林整備などに、元気いっぱい取り組んでもらいました。



WHABITAT グループワークキャンプ

8.29～9.4

早稲田大学のボランティアサークル「ワビタット」のメンバー8名が、山村塾で7日間活動しました。前半はえがおの森に滞在してラッキョウの定植など、後半は四季菜館でアイガモ飼育場所の整備など、何事もパワフルに取り組んでいただきました。おつかれさまでした！！

日帰りボランティア

7月～11月の期間に計6回開催し、延べ36名の方々に参加いただきました。棚田の草刈りやラッキョウ畑の管理、笠原棚田米プロジェクトの稲刈りなどが順調に進みました。ご参加ありがとうございました！

▶12月以降も、月に2回ほど（主に第2・4水曜日）活動を予定しています。予定等はホームページをご覧ください。



今シーズンの田んぼ仕事おつかれさまでした！（10/15）

その他の活動報告

日付	活動内容	会員	一般	WC	スタッフ	計
7/31 ～8/2	山村たんけんキャンプ (子どもキャンプ)	8	7	2	9	26
8/23	前日ワーク 「棚田の草刈り」	0	0	2	1	3
8/30 ～31	里山ミニワーク 「棚田の草刈り」	3	0	0	3	6
9/15	唄って踊って味わう 八女茶山	0	27	1	10	38
11/8	収穫祭準備	9	0	1	11	21
11/9	全体行事「収穫祭」	80	11	1	13	105

＊山村塾収穫祭＊ 11/9

今年の収穫祭は雨天のため、「えがおの森」の体育館に会場を移して開催しました。雨にも負けず、鴨の炭火焼に竹細工、丸太伐り競争など大いに盛り上がりました！



八女茶でかんぱ～い！

「想像力をはたらかせて

健全な地球を未来へつなぎましょう！」

連載3回目、最終回となりました。「今、地球温暖化について何とかしないと！周りに伝えたいといけない！」と言う私に、「山村塾通信」に書きますか？」の言葉をいただき書くことになりました。

今年の夏は昨年に増して暑く（熱く）長く、多くの気象データが記録更新され、連日の熱中症のニュースに地球温暖化を肌身で感じました。クーラーや品種改良、防災などの**適応策**はとっても、CO₂削減のための**緩和策**は、国や科学技術の進歩が何とかしてくれると思っている人もいます。確かに、ハイブリッド車や電気自動車、新築はZEH（ゼッチ：省エネ性の高い家）が増え、企業の脱炭素への取り組みが紹介されたり、商品化されたりしています。私たちは生活者、消費者として生活を見直し、地球温暖化対策を進めている企業を応援するとか、商品を購入するとかのアクションを起こしましょう。

日本では、気候変動対策は『生活の質を下げる』と思っている人が60%、『生活の質を高める』と思っている人が17%です。一方、世界の平均は前者が27%、後者が66%（2015年世界市民会議調査）。その違いはどこから来るのでしょうか。日本人は、気候変動対策＝我慢や負担を強いられると思っている人が多いようです。便利で簡単、楽な生活に慣れると、めんどくさい！と思うのかもしれませんが、とはいえ、ごく最近9～10月の内閣

府の世論調査では、「気候変動問題に関心がある」が91.7%、「地球温暖化対策でCO₂などの削減に取り組みたい」が89.2%と、ここ数年の異常気象を経験して意識に変化が出てきているようです。

山村塾での活動は、体験を通して食や自然との向き合い方を考えさせてくれる貴重な場です。環境保全の立場からも気候変動に目を向ける人が多いはず。山村塾が環境問題についても語り合える場になることを期待しています。

想像してください。地域や国に関係なく、私たちは地球を取りまく空気や流れる水で繋がっています。今の私たちの行動が未来の地球環境を決定づける（決して大げさではなく）ことを、本気で考え行動するときです。

最後にもう一つ、触れおきたい問題があります。プラスチック問題です。海洋ごみで問題になっていますが、マイクロプラスチック、ナノプラスチックとなって、空気中、水中そして私たちの体にも入り込んでいます。微粒子に砕けての問題とは別に、添加されている化学物質が溶け出すことによる人体への影響が指摘されています。例えば、フタル酸エステルや、ビスフェノールAなどの内分泌かく乱化学物質（＝環境ホルモン）が溶け出しています。石油から作られるプラスチック、製造過程や焼却処分時にCO₂を出し、有害な化学物質が添加されています。プラスチックは『選んで減らしてリサイクル』を心がけましょう！

文 / 木村 陽子

山村塾副理事長、山村塾会員歴26年。
福岡県地球温暖化防止活動推進員としても活動中。



*** 山村たんけんキャンプ *** 7/31～8/2

15人の子どもたちと里山で元気いっぱい過ごしました！

編集後記

え！今月もう終わり！？と毎月驚いているうちに、もう2025年の年末です。大好きな秋もあっというまの短さ。寒いのは苦手だけど、きっとすぐに春がくる！みなさまよいお年を～（原 愛子）

山村塾の事務局スタッフ募集中！

認定NPO法人山村塾では、ともに学び働く事務局スタッフを募集しています。

棚田や山林といった農山村環境の保全を目指し、人と自然、人と人、地域をつなぐ仕事です。イベントや研修の運営、農作業や山仕事など、幅広い仕事に関心のある方は、ぜひホームページをご覧ください！

スタッフ募集 詳細ページ▶

<https://sansonjuku.com/news/archives/264>



山村塾の年間予定



Facebook



Instagram



山村塾のSNS
発信中！

事務局より



会員募集中！

- **NPO 会員**：山村塾の趣旨に賛同し、会員として私たちの活動を継続的に応援して下さる NPO 会員を募集しています。総会での議決権を持つ「正会員」と、議決権を持たない「賛助会員」があります。
- **活動コース会員**：いっしょに田んぼや山で働く活動コース会員（稲作・山林、稲作、稲作 30kg、山林、古里）をいつでも募集しています。

ご寄附のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄附で支えられています。山村の暮らしに学び、山村の環境を守る取り組みに、ぜひご協力をお願いいたします。

【山村塾は「認定 NPO 法人」です】

山村塾へのご寄附は、確定申告をすることで寄付金控除の対象となります。

▶ ご寄附の方法

■ 郵便振込口座から

加入者名：特定非営利活動法人山村塾
口座番号：01790-3-169398

■ 銀行から

- ・ 銀行名：ゆうちょ銀行 店名：一七九（店番：179）
口座：当座 0169398
- ・ 銀行名：福岡銀行 黒木支店
口座：普通 1085398

特定非営利活動法人山村塾 理事長 小森耕太

※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレスをお知らせ下さい。

■ 農産物を買う

会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。

■ 古本で寄付ができます！

古本や DVD を「きしゃぼん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いします。（古本集荷依頼 TEL：0120-29-7000、山村塾に寄附したい旨をお伝えください。）

会員状況（2025 年 10 月 31 日現在）

▶ NPO 会員

- 【正会員】 個人：33 名、団体：3 団体
- 【賛助会員】 個人：99 名、団体：3 団体

▶ 2025 年度活動コース会員

稲作・山林：6 名、稲作 30kg・山林：4 名、
稲作 28 名、稲作 30kg：15 名、山林：9 名、
古里：9 名

▶ 笠原棚田米サポーター

111 名（個人 108 名、企業・団体 3 名）

寄附者（2025 年 7 月～10 月）

▶ 個人からのご寄附

2025 年 7 月 1 日から 10 月 31 日までに、9 件 98,200 円のご寄附を頂きました。

▶ 企業・団体からのご寄附

- ・ 古本募金きしゃぼん様を通じてご寄附をいただきました。（7～10 月：計 2,323 円）
- ・ OSUSO 様からご寄附をいただきました。（7～10 月：計 4,535 円）

山村塾 今後の予定

日程	行事名
12/7（日）	稲作コース「しめ縄づくり」
1/10（土）	左義長準備
1/11（日）	全体行事「左義長」
1/31（土）・2/1（日）	山林コース「しいたけ菌打ち」
2/7（土）	里山ミニワーク「みそづくり」
2/8（日）	稲作コース 「棚田の石垣草刈り①」
2/22（日）	山林コース「森の手入れ③」
3/1（日）	稲作コース 「棚田の石垣草刈り②」
3/8（日）	山林コース「炭焼き」

▶ 行事・里山ミニワーク等の開催について、最新情報はホームページ、メールニュースにてご案内します。

※イベント情報のご案内を、FAX や郵送で希望される方は、事務局までお知らせください。

＼お問い合わせ大歓迎！／



こめづくり もりづくり むとづくり

山村塾 認定 NPO 法人 山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1
TEL・FAX 0943-42-4300

Email: info@sansonjuku.com HP <https://sansonjuku.com>

FB @sansonjuku Instagram @sansonjuku_official

発行者：小森 耕太

編集者：原 愛子

※山村塾は認定 NPO 法人です。山村塾へのご寄附は寄付金控除の対象となります。

最新情報はホームページより

山村塾

検索

